

決算説明資料

2025年12月期 第3四半期

ISB CORPORATION

証券コード：9702

2025年11月10日

株式会社アイ・エス・ビー

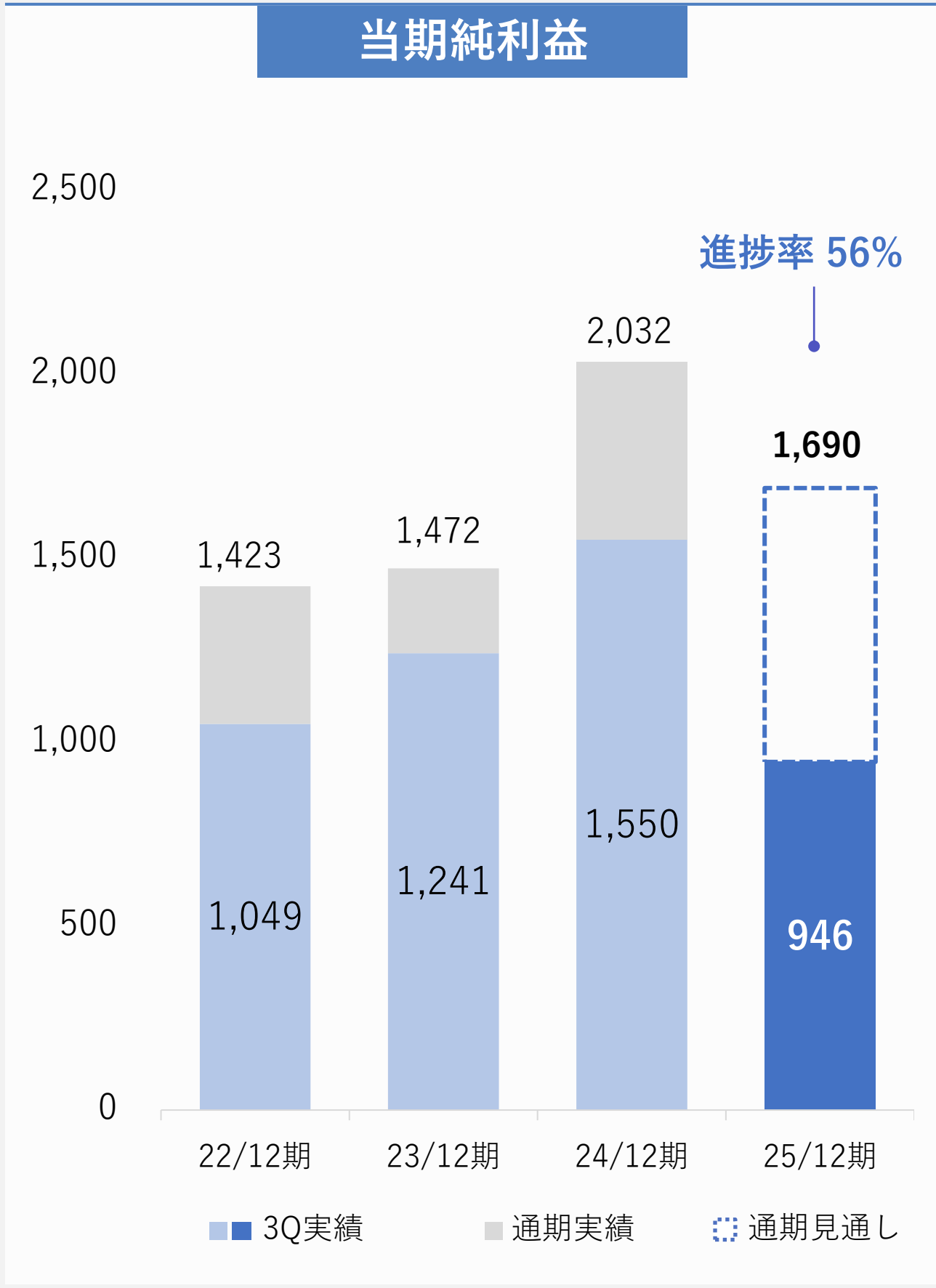
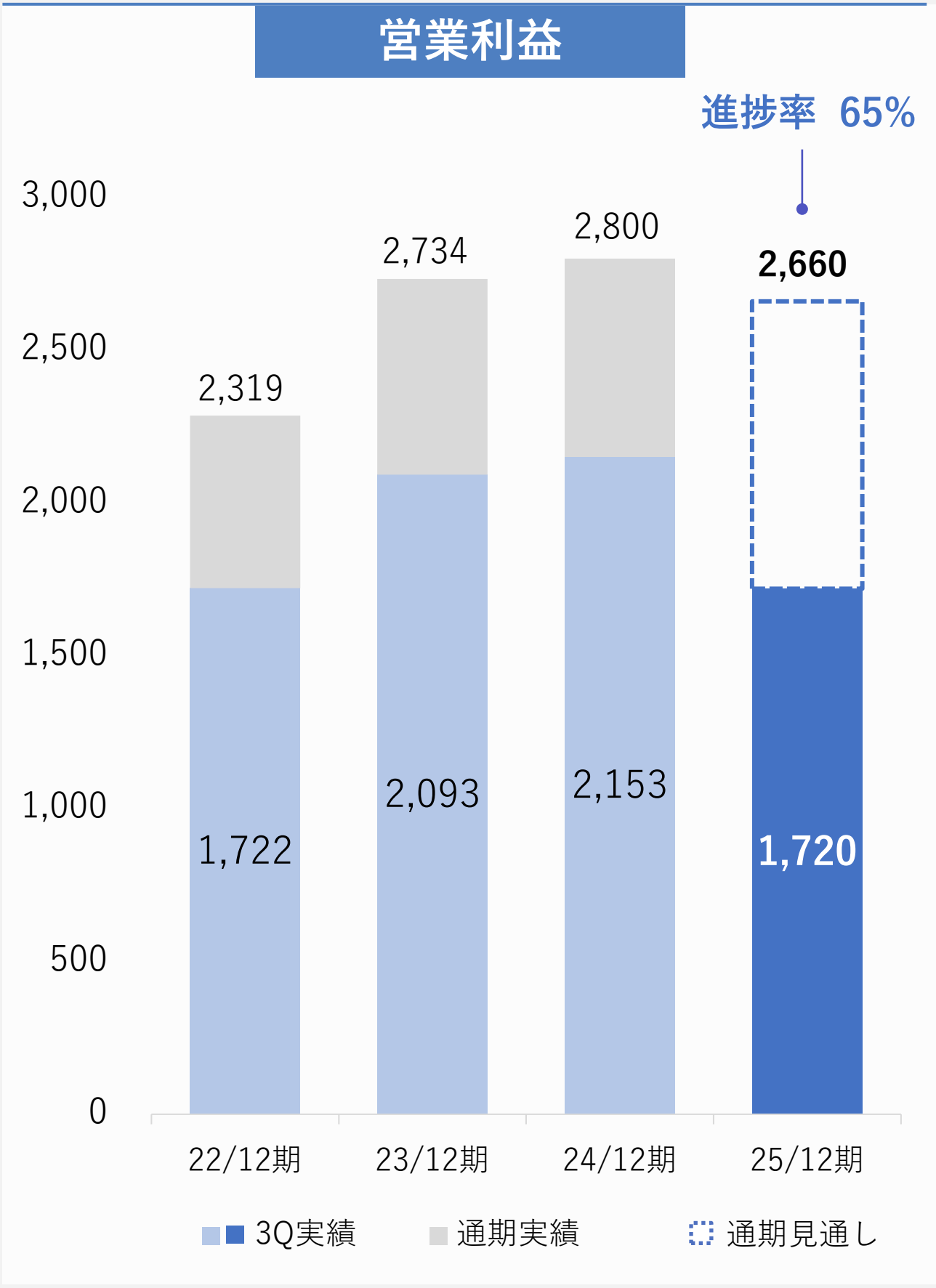
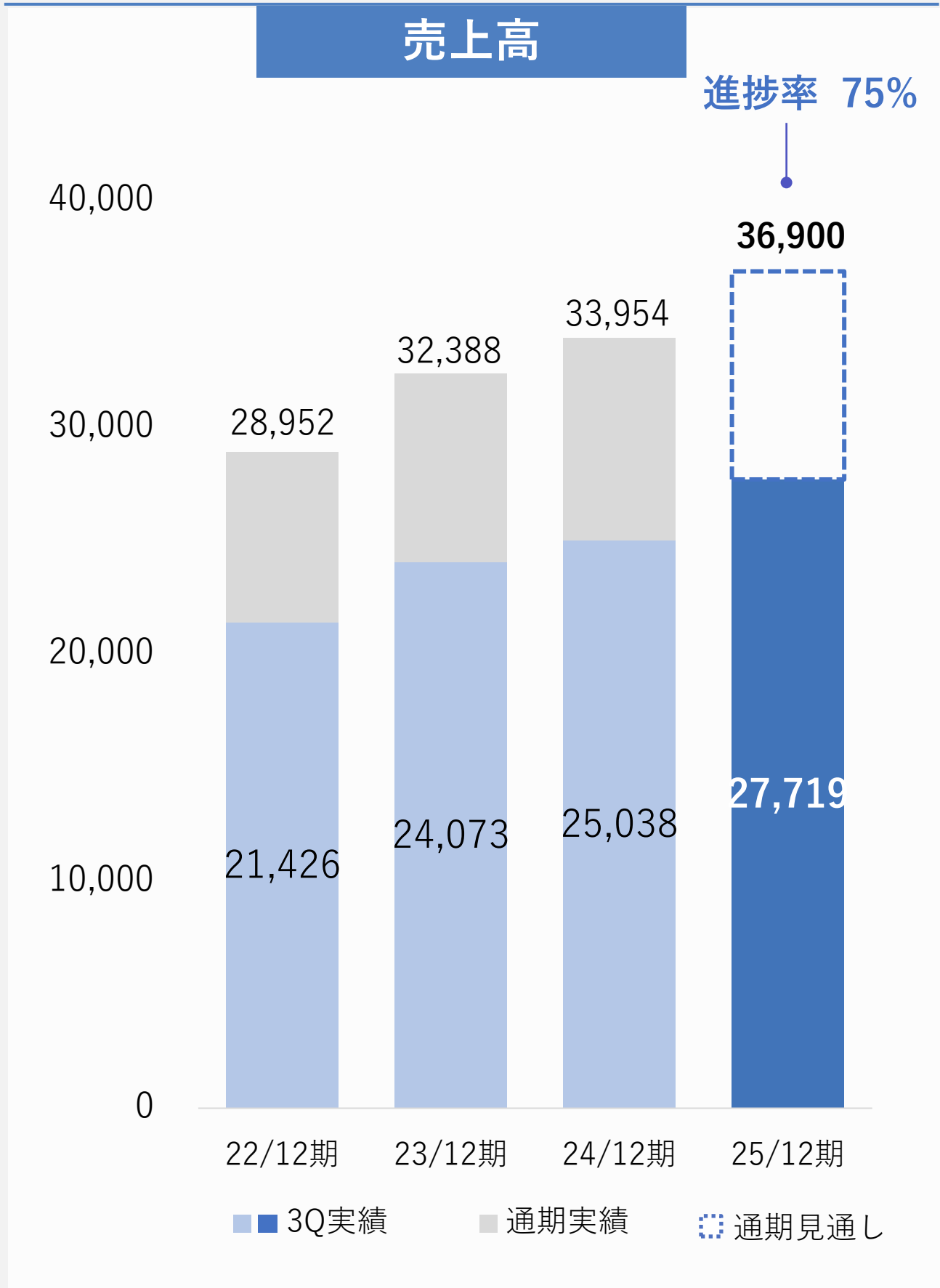
モビリティ、ビジネスインダストリー、エンタープライズ、プロダクトの4領域すべてにおいて受注が堅調に推移し、前年同期比増収。
将来の成長に向けた先行投資（約11.5億円）および、一部不採算プロジェクトの影響に伴う一時的な費用計上により減益。

(単位：百万円)

	2024年3Q	2025年3Q	増減	前年同期比	通期予想
売上高	25,038	27,719	2,681	111%	36,900
営業利益	2,153	1,720	▲433	80%	2,660
営業利益率	8.6%	6.2%	▲2.4pt	-	7.2%
経常利益	2,192	1,742	▲450	79%	2,750
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,550	946	▲604	61%	1,690

一時的費用の影響を受けつつも、通期計画達成に向け着実に推進

(単位：百万円)

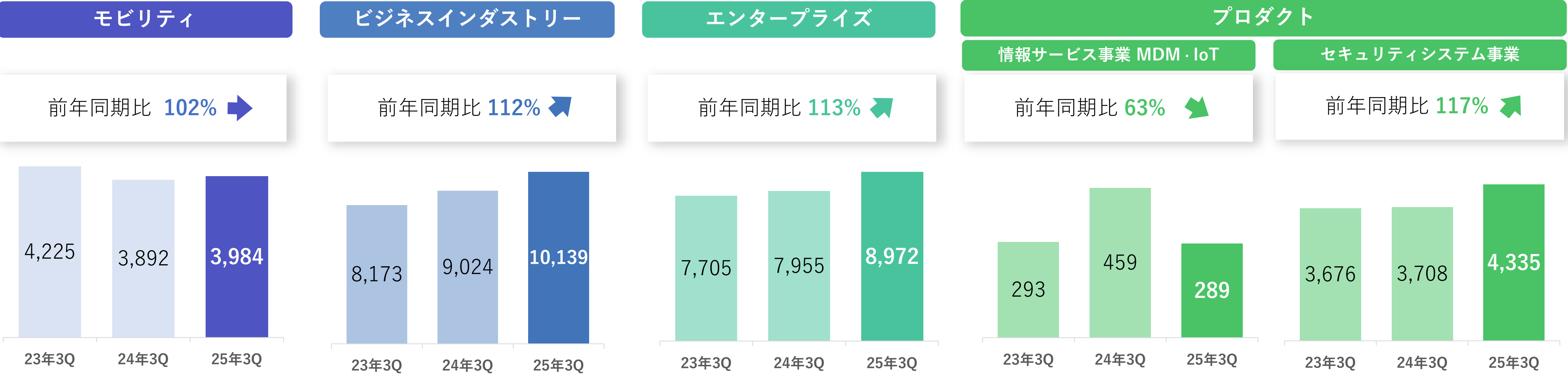


事業領域別売上高



モビリティ	携帯端末・5G関連は縮小継続し、その他組込みへシフト。 車載はメーター系を中心に堅調に推移し、アウトカー分野の拡大を推進。引き続き人材の確保・育成に取り組む。
ビジネス インダストリー	DX需要により業務システムの引き合いは引き続き旺盛も、一部不採算プロジェクトが発生。プロジェクト管理の強化・機会損失抑制に注力。 組込みは既存先からの継続受注を中心に、セキュリティ・医療・IoT系案件が順調に推移し、着実に伸長。
エンタープライズ	金融は主要顧客を中心に受注が好調に推移。公共は自治体案件を推進し大きく伸長。 ITインフラも既存からのOA環境移行案件が堅調で安定的に推移。
プロダクト	【情報サービス事業 MDM・IoT】 FiT SDMで大口案件を獲得も全体では前期の単年案件の反動で減収。FiT SDM/サイネージの継続推進 および、高精度測位ソリューションや端末展開により伸長を狙う。 【セキュリティシステム事業】 堅調な引き合いに加え、営業戦略も奏功し好調に推移。また4Q予定案件の一部前倒しにより、大幅増収。 リカーリングビジネスも受注が増加し順調に伸長。

(単位：百万円)





本資料は、2025年12月期第3四半期決算の業績に関する情報の提供と、当社に対するご理解をより深めていただくことを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2025年9月末時点の状況において作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。